



# 桜咲く



来間夕口一

目が合えば 息が乱れる 苦しさ と 恋という字に 震える右手

story

クラスメイトの君からの告白され、付き合うようになりました。

授業中、君と目が合った瞬間から、僕の胸は締めつけられ呼吸も乱れだします。

その時、恋という字を書いてみれば、ペンを持つ右手が震えていました。

そして、気付きました。間違いなく僕は君に恋してる。

## ホワイトホース

---

お迎えは 白い馬では 行けないが 後ろに乗りな 白い自転車

story

君が待つ場所へ 白馬に乗っては行けないけど

僕の白い自転車でなら 迎えに行くよ。

君を後ろに乗せて さあ、行こう。

## 右手と左手

---

触れた肩 そらす視線に 探るのは 初めて握る 君の左手

story

君と寄り添って歩いていると、二人の肩が触れ合います。

その時、君と初めて手を繋ぎたいのに

目を合わせるのが恥ずかしくて、よそ見しながら

僕の右手は 君の左手を探していました。

## ファーストKISS

---

放課後に 顔を赤らめ 見つめ合い 唇交わして 知る柔らかさ

story

放課後、誰もいなくなった教室で 君と二人きり。  
二人は 顔を赤く染め 言葉もなく見つめ合います。  
そして、君も僕も 初めての口づけをしました。

この時初めて知りました。

唇で感じる唇は、とても柔らかいって事を。

## ペア ウォッチ

---

デートの日 二つ並んだ 腕時計 時を刻むも 歩幅も同じ

### story

君とお揃いの腕時計を買いました。

二人で会うと 同じ腕時計も並んでいます。

二つの腕時計は、時を刻むのも 歩くペースも同じでした。

勿論、行く先も同じです。

## 恋はタンDEM

---

君乗せて 風切り走る 並木道 果てなく続け 二人の恋路

story

君を自転車の後ろに乗せて二人乗り。  
そして、桜並木を 風を切って走ると  
とても楽しく 気持ち良く感じます。

その時、この二人の恋の路が  
どこまでも 続けば良いのと思いました。

## こしゃくなヒール

---

クラスでは 同じ高さの 目線でも 口づけの時 背伸びする僕

### story

ちょうど同じ身長の子と僕。

学校で会う時は、スニーカーだから同じ背丈でも

日曜日に会う時は、君の方が少し背が高くなります。

だから、KISSする時は 僕が少し背伸びをします。

その靴 可愛くて 良く似合ってるけど

そのヒールが ほんの少し シャクだね。



腕を組み 歩く傍ら よそ見をし 初めて知った 女の怖さ

story

君と腕を組みで 街を歩いている時、  
ほんの少しだけど すれ違う女の子と目が合いました。

それを見逃さなかった君は、すぐさま  
僕の脇腹に エルボーを入れました。  
凄く痛かったです。

その時、初めて知りました。  
嫉妬に狂った女は 怖いってことを。

## 将来の夢

---

肩寄せて 互いの未来 語り合う 何年先も 夢見たい

### story

河川敷で君と二人 肩を寄せて 座って話をしています。

将来どんな仕事をしているか、どんな処で暮らしているか。

お互いの夢を語り合っています。

3年先、5年先も 二人で こんな風に ずっと未来を夢見ていたら

どんなに楽しいだろうと 願うばかりです。

## 恋の花

---

見上げれば やがて散りゆく 桃の花 季節変われど 恋花散らぬ

story

恋をして 春を感じて空を見上げれば

鮮やかな桃色に咲く 桜の花

今は 欄間に咲く花も やがては散ります

季節が変わり 桜の木が桃色から緑色に変わっても

僕たちの恋の花は 決して散らないと 信じています